

# こんにちは 町会です

明るく楽しい町会・自治会活動  
わがまち中央区の地域の輪

新川一丁目  
北町会



大伝馬町  
一之部町会



佃三丁目  
五号棟自治会



**町会・自治会活動に参加して  
世代を超えたふれあいを！**

中央区では、「都心に人が住めるようにしよう」を合言葉に全庁を挙げて総合的な施策に取り組み、本年四月、実に四十六年ぶりに十三万人台を回復し、まちには「にぎわいと活気」が一段とみなぎってきております。また、七年連続して赤ちゃん千人以上も誕生し、ベビーブームが続いております。

まちのにぎわいが増す中で、毎日を安全に安心して暮らしていくためには、地域で暮らす人々との相互理解や信頼関係の構築が必要不可欠となります。

地域において、その中心的役割を担っているのが町会や自治会です。

町会・自治会は、地域コミュニティの核として、防災・防犯活動や高齢者への声かけなど、日々の暮らしに密着した活動を幅広く行っています。

特に、防災活動については、一昨年三月の「東日本大震災」での経験を活かし、防災訓練の実施や災害用備蓄品の一層の充実を図るなど、より安全で安心なまちづくりに取り組んでいます。

さらに、町会・自治会は、盆踊りやもちつきなどの伝統行事も行っていますので、子どもから大人まで幅広い年代の方たちとコミュニケーションを図ることができるのも魅力です。

「こんにちは町会です」は、主に町会・自治会に未加入の方に、町会・自治会のさまざまな活動を知っていただくことで、加入・参加のきっかけとなることを目的としています。

さあ、あなたも町会・自治会の活動に積極的に参加して、快適な地域社会と活力あるコミュニティをともにつくっていきましょう！



町会員の掃除は、境内の掃除は町会が行っています。一月にはこの神社で餅つき大会を、四月には例

江戸時代、上方(灘)から船で酒が運ばれたとき集積地となったのが新川で、古くから酒問屋街として栄え、現在に至っています。  
町内にある新川大神宮は江戸時代から酒問屋の信仰を集め、今でも例大祭には全国の酒問屋や飲料品メーカーが大勢参加します。そのとき商売繁盛を願って行われるのが『新川締め』と呼ばれる独特の手締めで、地元の誇りの一つとなっています。

京橋地域

酒問屋のまちが熱く燃える  
富岡八幡宮の例大祭

新川一丁目北町会

会長 大田 利之さん



大祭を町会主催で行います。」と語るのは、会長の大田さん。

町会最大のイベントは、三年に一度の富岡八幡宮例大祭です。神田祭り、山王祭りと並ぶ江戸三大祭りの一つと言われており、永代通りを通行止めにして五十数基のみこしを通します。

「町会では揃いの半纏を準備し、初心者には『みこし総代』と呼ばれる役員が、みこしの担ぎ方や着付けを指導します。一時期、住民が減って心配しましたが、近年は住民の増加に伴って担ぎ手も増え、女性も担ぐようになりました。この祭りはわれわれ住民の誇りであり、互いのきずなを深めるビッグイベントです。」と大田会長。

例大祭の翌年には、「子どもみこし」が繰り出され、その翌年には「二の宮みこし」を富岡八幡宮の氏子がエリアごとに担ぎます。例大祭のないうこの二年間は、越前堀公園で盆踊りが開催され、子どもを含む約七百人で賑わいます。

魅力的なイベントを通して  
町会員をさらに増やしたい

春には京橋八の部連合町会主催の「お花見」が越前堀公園で開催され、新川一丁目北町会は、シユウマイや

小籠包、チマキなどの飲茶の屋台を出店します。また、新川児童館で七月に行われる「新川夏まつり」も新川地区の各町会が協力して開催するもので、七百人ほどの子どもが、かき氷や綿あめ、輪投げなどを楽しめます。

九月の「防災訓練」では、消防署員に消火器の使い方などを教わり、秋の「バス旅行」では紅葉狩りを楽しみます。昨年は約四十名が山梨の昇仙峡へ行きました。そして年末には拍子木を叩いて夜回りを行っています。

「東日本大震災後、地域のつながりの大切さを痛感しているのも、もっと町会員を増やし、町会活動を活性化したいと考えています。そのためには、行事のたびにマンション住民をはじめ広くみなさんに告知を行い、子どもたちと一緒に参加するよう呼び掛けています。町会はオープンな雰囲気ですから、若い方にもどんどん入会してほしいです。」と語る大田会長の言葉には、町会の発展を願う熱い思いが込められています。

左から  
副会長の横川さん、  
会長の利之さん、  
副会長の今井さん



## ～町会・自治会の情報サイト「中央区町会・自治会ネット」をご利用ください～

中央区では、町会・自治会への新規会員の加入促進および町会・自治会同士の情報交換等の連携支援を目的とした「中央区町会・自治会ネット」を開設しています。

このホームページでは、町会・自治会に関する情報について、団体検索や情報検索機能により、①各町会・自治会のプロフィール、②イベント案内、③活動報告、④名所名店情報、⑤加入のご案内などが閲覧できます。そのほかにも町会・自治会同士の連絡手段としての掲示板（会員のみの利用可能）や、地域に密着した行政情報などを掲載しています。

まちの魅力を共有する一手段として、「中央区町会・自治会ネット」を積極的にご活用ください。

中央区 町会・自治会ネット

検索

お問合せ先 区民部地域振興課自治振興係 03-3546-5337

※中央区のホームページからもリンクがありますので、ご利用ください。





大伝馬町は、徳川家康が江戸城拡張に際して転居を命じた三つの村のうち、宝田村の住民が集団移転して形成したまちです。江戸最古のまちともいえる由緒ある土地で、江戸時代中期には木綿問屋が軒を連ねて賑わいをみせていました。

「町内にある宝田恵比寿神社は、宝田村の住民とともに城内から現在地に移転してきました。この門前で江戸時代中期から開かれているのが『べつたら市』で、現在、十月十九、二十日の両日で約十万人が訪れます。」と会長の濱田さん。

主催者は、旧大伝馬町(大伝馬町一之部と本町三丁目東)の町会代表で

## 日本橋地域

年ごとに賑わいを増す  
江戸時代から続く『べつたら市』

大伝馬町一之部町会

会長 濱田 捷利さん



つくる「べつたら市保存会」で、両町会が後援しているため、提灯の制作、詰所の設営などの運営は町会員が分担して行います。

当日は三十ほどのべつたら漬けの店を含め、約五百の露店が並び、小学生のみこしも出ます。また昨年から盆踊りも開催され、べつたら音頭や、大伝馬町音頭を老若男女が踊ります。

『べつたら市』が終わると、小学生を対象に作文と絵画のコンクールが行われます。表彰式では賞品が配られるので、子どもたちも毎回楽しみにしているようです。

一月四日には、宝田恵比寿神社を含む「日本橋七福神めぐり」が実施され、二万人ほどの参加者がいるので、町会も協力して対応しています。

### 歴史あるまちで伝統を守りつつ新しい力で町会を活性化したい

「現在、町会員数は約二百五十で、マンションは建物単位で入会しています。また、法人会員は清掃など行事に積極的に参加してくれるので、ありがたいですね。」と濱田会長。

年間行事も多彩で、三月末には「日

帰りバスハイク」を青年部が企画。今

年は三十数名が成田山を訪れました。また十思公園での「お花見」も恒例となっています。

神田祭りは隔年の五月に開催され、大伝馬町一之部町会は、先頭の諫鼓(かんこ)山車を担当します。大伝馬町が一番山車を曳くことは、江戸時代から決められており、当時は江戸城にも先頭で入城したといわれています。

八月の『夏祭り納涼大会』は、口コミで毎年参加者が増え、三百人以上の子どもたちが集まります。食べ物・飲み物は無料とし、バーベキュー、スイカ割り、流しソーメンなどを行うほか、子ども用の大型プールも設置し、大変喜ばれています。『子どもは町会の宝』という考えのもと、今後も継続していく予定です。

「誇りをもって伝統を守りつつ、その素晴らしさを次の世代に伝え、引き継ぐことが大事だと考えています。」と語る濱田会長は、地元の小学校でまちの歴史を教える授業も行っています。町会のみなさんの活動を通して、まちの魅力は確実に子どもたちに伝わっています。

左から  
副会長の秋山さん、  
会長の濱田さん、  
青年部部長の鈴木さん



## ～中央区の企業の皆様へ～ 町会では法人企業会員の方も募集しています

現在、「中央区」には、約3万7千の民営事業所に72万人の従業員が働いています。

2年前の「東日本大震災」では、多くの帰宅困難者が発生しましたが、中央区においては、町会のご協力のもと2千人を超える人々を、19の防災拠点において受け入れました。

町会は、日頃から地域の活性化とともに、行政と連携して防災・防犯活動など安全で安心して暮らせるまちづくりにも貢献されています。

法人企業においても、日ごろから町会との連携を深め、地域内での協力体制を築いておくことが大切です。また、盆踊りやもちつきなど、町会が主催するさまざまなイベントに参加することで、日中多くの時間を過ごす地域の方とコミュニケーションを図ることもできます。さらに、町会に加入し区の商工業融資を利用した場合、借受人負担利率を優遇する制度もご利用いただけます。

ぜひ、町会未加入の企業の方は、これを機会に加入しましょう！皆さんの事業所がどこの町会エリアに属しているかなど、町会に関する詳しい情報は、2面下段の「町会・自治会ネット」でもご覧いただけます。



**島**  
**地域**  
**防災に対する意識を高め**  
**緊急時の体制を整備**  
佃二丁目五号棟自治会  
会長 立岩 絹子さん



佃二丁目五号棟自治会は、二十五年ほど前に建てられた八階建て集合住宅の住民で構成されています。

「全部で七十八世帯ですが、みなさん顔なじみで仲が良く、東日本大震災のときもみんなで巡回し、安否確認を行いました。この震災を機に防災意識が一層高まり、非常時の水を配布



し、乾パンやビスケットを防災備蓄品として保管したり、笛やメガホンを用意しています。

また、炊事に必要なバーナーの使い方も練習しています。」と語るのは、会長の立岩さん。

災害時は近隣との協力が不可欠なので、年一回、同じ敷地内にある三号棟、四号棟と「合同防災訓練」を実施しています。起震車に乗って震度六の揺れを体感したり、消防署員か

ら応急手当の仕方、消火器やAEDの使い方、煙への対処法などを教わります。

また、高層住宅で大地震が起きたときの対応について教えていただき、非常時の炊き出しを想定し、各棟の担当が約二百人分の食事を作りました。

さらに、住民で災害時の対応を考える場として「防災のつどい」も年二回、開催しています。

「ほかに自治会で力を入れているのは地域清掃です。当番制は廃止し、毎回、お掃除スタッフを募集します。毎月の全体清掃のほか、フロアごとに参加する掃除もあります。毎回出席率が高く、いつも綺麗だと周辺の方にほめていただいています。」

地域の役に立つ喜びを感じながら、みなさん和気あいあいと取り組まれているようです。

**高齢者への配慮を怠らず**  
**安心して暮らせるまちに**

住民は高齢者が多いので、四年前から「見守り活動」も開始しました。一人暮らしの高齢者や高齢者夫婦のお宅を数人が分担して定期的に訪問し、様子を確認しています。また、「緊急通報装置」を十軒ほどに設置

し、緊急事態に備えています。

三年前には住民の皆さんの承諾を得て、全所帯の名簿を作成し、昼夜で異なる在宅の有無も確認しました。これまで何度か救急車を呼ぶ事態があったため、ご家族の連絡先を把握していることは、命を守ることにつながると考えています。

また、老人会の祐川会長とも連携を図り、年四回の誕生会、日帰り散策、泊まりがけの旅行、忘年会などは老人会が開催し、敬老のお祝い会や新年会は自治会が行っています。

「自治会活動が活発なのは、住民の方々が積極的に協力してくださるからだ」と感謝しています。これからも「明るく楽しく」をモットーに、みなさんが気軽に参加できる楽しい行事を計画したいと思います。マンネリ化しないように『こんにちは町会です』も参考にしています。」

今後も素晴らしいチームワークで、いきいきとした活動を続けられることでしょう。

左から、防火管理者の立岩さん、会長の立岩さん、副会長の湯浅さんと原田さん、老人会会長の祐川さん



**コミュニティふれあい銭湯**

中央区では、コミュニティふれあい銭湯として毎月第2・第4金曜日に一人100円(敬老入浴証持参者および小学生以下は無料)で銭湯の湯をお楽しみいただけます。みなさんのご利用をお待ちしています。

平成25年度の後期は、下記の日程となっています。

※「金春湯」は改修工事に伴い3月3日(月)まで休業中です。

<b>【開設日】</b>	10月11日(金)・25日(金)	11月 8日(金)・22日(金)	12月13日(金)・27日(金)
	1月10日(金)・24日(金)	2月14日(金)・28日(金)	3月14日(金)・28日(金)

※第2金曜日は、季節にちなんだ趣向で浴湯を飾ります。

<b>【時 間】</b>	各浴場営業時間	<b>【場 所】</b>	中央区内公衆浴場(銭湯)10浴場
<b>【対象者】</b>	中央区内在住・在勤者	<b>【入浴料金】</b>	一人100円 <small>※ただし、敬老入浴証持参者および小学生以下は無料</small>

**お問合せ先** 区民部地域振興課区民施設係 **03-3546-5623**

